

〔科目名〕 地域企業論 I	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 専門科目 基幹科目				
〔担当者〕 生田 泰亮 IKUTA Yasuaki	〔オフィス・アワー〕 時間: メールか直接アポイントメントを 場所: 1305 研究室	〔授業の方法〕 講義				
〔科目の概要〕 地域企業論 I では「地域と企業の基本的関係」「企業の構造と機能」「地域の産業構造と事業戦略」を理解するための基本的な概念枠組を学ぶ。また事例を紹介しながら「地域で企業を経営する」ための基礎的な知識や理論、昨今の地域と企業に関する動向を学ぶ。						
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 複眼的思考を身につけなければ、地域のビジネス・リーダー、コミュニティ・リーダーとして活躍することは難しい。本講義は、1 年次で学んだ内容を基本としつつ、多くの選択必修科目と関連性のある「総合的な科目」「中核的な科目」とであると認識してほしい。本講義で新たな知見を得るとともに、これまで学んだ講義の復習であり、これから学ぶ講義にとっては予習となることが多々あるだろう。関連づけ、反復することで「有効な思考法」として身につく。						
〔科目の到達目標〕 地域企業論 I, II の両講義を通じて、以下のような目標とする。 (1) 地域の経済、産業、市場、企業の動向を理解するための「基礎知識」を学ぶ。 (2) 企業がおかれた社会、市場、産業などの「環境分析」ができる。 (3) 企業の経営政策、事業戦略についてのデータ分析やケース・スタディを行い「問題解決策の立案」「戦略策定」や「政策提言」ができる。						
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕						
学部				学科		
DP1 ○	DP2 ○	DP3	DP4	DP1 ○	DP2 ○	DP3
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 大学での学びにおいて、講義はあくまでもその専門分野の初歩、イントロダクションであり、講義をきっかけにさらに自ら学習することが求められます。シラバスへの記載事項、講義中にもお伝えしている事項について、十分に理解されずに受講し、評価アンケートに回答している方が見受けられます。履修されるか否かは、シラバスをよく読み、初回の講義での説明をよく聞き、よく検討し、ご理解いただいた上で決めてください。当然のことながら、履修した以上は、しっかりと学習してください。努力せずに単位取得したいと考えている方は履修されない方がよいかと思います。受講態度の悪い学生(遅刻、欠席)、周囲の迷惑(私語等)になるような行為には厳しく対処します。講義内容以外にも学習方法等についての相談にも応じているので、遠慮なく質問や相談してください。						
〔教科書〕 なし(配布資料)						
〔指定図書〕						
〔参考書〕						

<p>〔前提科目〕 経営学基礎論を履修し、単位取得していること(必須)。 また、経済学、財務分析などの基礎知識も必要となります。関連する科目を履修している、あるいは今後の履修科目について計画的に考えた上で、履修することを推奨します。特に秋学期の地域企業論Ⅱを受講することも念頭に本科目を受講することを強く推奨します。</p>	
<p>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 80%以上 A 79-70% B 69-60% C 59-50% D 49%以下 F 理解度テスト (20%) 第7回講義日に実施する。 学期末の定期試験 (50%) 課題レポート (30%) ※詳細は講義内で説明する。 ※講義進行の妨げとなる行為、注意を聞き入れない場合、当該学生の本科目の評価を「F」とします。</p>	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 ポイントを絞りつつも他の科目内容との関連性をしっかりと解説し、他の専門科目と関連付けて深く学ぶ動機づけになるように心がけたい。 毎回のテーマ、キーワード、問いやトピックに対して、疑問を持って講義に臨んでほしい。</p> <p>秋学期の地域企業論Ⅱでは『中小企業白書』を取り上げ、統計データの分析、地域における企業経営に関するケース・スタディ等を行う。こうしたことを通じて、地域企業を取り巻く環境分析、最新の動向を読みとく力、企業経営における戦略策定、地域産業への政策提言を行う力を身につけることを期待している。そのためには、地域企業論Ⅰでの学習内容が基礎となるので、この点も留意して履修してほしい。</p>	
<p>〔実務経歴〕 なし</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ (何を学ぶか) : イントロダクション 内 容 : 講義内容と進め方について</p>
第2回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 現代社会における地域と企業 (1) 現状と課題の概観 内 容 : 地域社会に与える企業の影響を考える。 なぜ、ねぶた祭りに企業は協賛するのか?</p>
第3回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 現代社会における地域と企業 (2) 基本概念の整理 内 容 : 経営経済学的な「地域社会」の理解</p>
第4回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 地域社会と企業 (1) 地方と都市と企業の歴史的考察 内 容 : 農村社会と近代都市、工業都市をキーワードに コミュニティとアソシエーション、2つの原理とその重層性について学ぶ</p>
第5回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 地域社会と企業 (2) われわれの生活と地域、企業 内 容 : 「少子高齢化」「極点化社会」「表日本と裏日本」</p>

第6回	<p>テーマ（何を学ぶか）：地域社会と企業（3）現代のコミュニティ問題と地域企業</p> <p>内 容：労働観、雇用機会の変容、地域社会の経済、雇用を支える企業</p>
第7回	<p>テーマ（何を学ぶか）：理解度テストと前半のまとめ</p> <p>内 容：講義時間内に理解度テストを実施、前半の内容についてのまとめを行う。</p>
第8回	<p>テーマ（何を学ぶか）：企業の構造と機能（1）企業の成長・発展段階、企業の存在意義</p> <p>内 容：経営体として企業を理解するための基礎的概念(企業、経営、事業)を学ぶ</p>
第9回	<p>テーマ（何を学ぶか）：企業の構造と機能（2）様々な企業観と企業の種類</p> <p>内 容：経済学的、経営学的な企業観、制度としての企業</p>
第10回	<p>テーマ（何を学ぶか）：企業の構造と機能（3）利益から考える企業の存在意義</p> <p>内 容：財務会計学的な企業理解、「利益」の現代的意義(マルクス、ウェーバー、ドラッカー)</p>
第11回	<p>テーマ（何を学ぶか）：事業論（1）資源、技術、商品、市場からの環境分析</p> <p>内 容：経営資源、技術、商品、市場の観点から事業を考える。</p>
第12回	<p>テーマ（何を学ぶか）：事業論（2）産業の立地条件</p> <p>内 容：M.E.ポーターの理論を中心に、競争要因、競争優位性、産業の立地条件</p>
第13回	<p>テーマ（何を学ぶか）：事業論（3）企業間関係論、戦略的提携の視点</p> <p>内 容：産業構造、組織間関係の理論（企業集団、系列化、戦略的提携）</p>
第14回	<p>テーマ（何を学ぶか）：事業論（4）競争のない新たな市場開拓 ブルー・オーシャン戦略</p> <p>内 容：競争市場から独自の新たな市場空間を目指すための諸概念</p>
第15回	<p>テーマ（何を学ぶか）：春学期全体の振り返りとまとめ、秋学期に向けての課題</p> <p>内 容：</p>
試 験	<p>期末試験を行う。また、課題レポートの提出を求める。詳細については改めて説明する。</p>